

留 学 報 告 書

記入日:2019年10月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年8月19日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料	7000	750000 円	
宿舍費	5000	530000 円	
食費	200	21000 円	
図書費	100	10500 円	
学用品費	100	10500 円	
教養娯楽費	1000	106000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	500	53000 円	形態:
渡航旅費	1100	11700 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	15000	1577000 円	

渡航関連

渡航経路:羽田ーサンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	57000
復路	60000
合計	117000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明治大学が指定したもの

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

International House 国際的な寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

報告書を読み、web で自分で検索した。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

International House は歴史ある寮で、世界中からの人が集まっており、日々寝食共に過ごしていた友達はほとんどこの International House で出会うことができた。世界中の友達を作ることができる。(インド、ドイツ、スペイン、オランダ、ポルトガル、アメリカ、ブラジル、チリ、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、カナダ、)
施設内も清潔で建築がとても綺麗。この食堂はかなり充実しており、他の寮の人からも羨ましがられた。ピュッフェ形式のため食べすぎないように、自己管理が欠かせない

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特になし

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

夜一人では歩かない

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、学校ともにWifi環境は整っていた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

5万円分のドル現金を用意していき、ほとんどカード決済で現金を使う機会を減らし、3か月で現金は500ドル分で足りた。結果的にはドル現金余った。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前にクレジットカードでの支払い。履修を変え、さらにお金を払う必要があった際は、現地でクレジットカードを使って、オンライン上で支払った。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
業界地図
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
航空業界、メーカー、商社など
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中であっても、3年であれば、少し念頭において活動する必要がある。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behavior	消費者行動
科目設置学部・研究科	経営
履修期間	セッション A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	参加型講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Bill Fanning
授業内容	消費者行動に関する基本的な知識を習い、実際にそれが行われているケースを享受が動画などを通じて紹介してくれる。 Reading の課題が多く、きついが、Reading をしっかりやっただ日の授業の理解度が変わってくるし、応用したところまで授業内で考えることができるため、課題をしっかりやることをおすすめする。
試験・課題など	Reading が平均50ページほどある。日によるのが、スケジュールはあらかじめシラバスで説明されているため、Reading が多いとわかっている週は土日に進めておくなど工夫をしていた。試験は2回あり、選択方式と、記述が少しある。 またレポートの提出、さらにはグループワークが2回もあるため、幅広く課題ができる。グループワークで仲良くなるきっかけにもなるのではないかと思う。
感想を自由記入	消費者行動の基本的な知識のほずであるが、どれも私にとって新しいものが多く、また教授の紹介してくれる実際の事例がまた面白かった。 グループワークでは私たちにあまりなじみのない、クレジットカードに関するものであり、議論や研究が難易度が高かった。発言する子が多く、日本ではなかなか見られない授業光景でした。興味疑問のあることはとにかく発言していくスタイル、新鮮だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Special Topics in Innovation and Design		プロジェクトマネジメント	
科目設置学部・研究科	経営		
履修期間	セッション A		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Omar Romero-Hernandez		
授業内容	プロジェクトマネジメントに関して一から学ぶ。 一方的な講義が大半を占める。 グループで実際にプロジェクトを遂行するためにアイデアを考え、それに向けての勧め方を考えたり、ソフトを使ってプロジェクトマネジメントに関するゲームを行ったりした。		
試験・課題など	グループプロジェクトのプレゼンテーション 最後の筆記テスト たまに Readnig の課題あり。		
感想を自由記入	プロジェクトマネジメントが自分にとって新しく学ぶことだったので、新鮮でした。 基本的には講義全般なので、集中力を保つ必要がありました。 プロジェクトマネジメントシミュレーションゲームは面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Marketing		マーケティング	
科目設置学部・研究科	経営		
履修期間	セッションD		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が3回		
担当教授	David Robinson		
授業内容	マーケティングに関する知識とその事例を用いた講義。 後半ではグループに分かれ、ある企業に関する Reading を熟読し、課題に対する解決策を考え、オーディエンス側がその企業、発表側がコンサルタントというスタンスで、プレゼンテーションが最後に行われる。		
試験・課題など	Reading課題があり、そこまで量が多くないものの、熟読していないとクラスに参加できないリスクが増える。また授業中にランダムに先生が当てる、もしくは挙手をしなくてはいけないプレッシャーがあり、授業全体的に緊張感があるクラスになっている。当てられた時に答えられない、もしくは声が小さいとかなりの叱責を食らう。自信がなくても堂々としていけば問題ない。 レポート課題が自分のみで行うものと、グループで一つのレポートを出す、2つの形態があった。 出席だけではなく、参加度もかなりこまめにチェックしており、自分から挙手して答える必要があり、それが正解もしくは興味深くないとポイントにつながらない。 最後にはプレゼンテーション、また選択問題の筆記テストがある。		
感想を自由記入	教授が怖い、もしくは失礼と最初は感じるかもしれないが、すべて言っていることは正論であり、生徒に効率よく学ばせる授業の進め方をしていると感じた。また緊張感があることにより、強制的に授業への意欲が増す。授業の受け手が努力をした分だけ、よりたくさんの方が得られるクラスになっていると思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Power and Politics in Organization	組織における政治・権力
科目設置学部・研究科	経営
履修期間	セッションD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Edward Kass
授業内容	リーダーシップ論、心理学、交渉術学などが学べる講義。 組織の中での権力関係の話、また人脈関係が組織やプロジェクトを遂行する上で関連していくことなど、興味深い内容であった。 事例となるケースを吟味したり、実際に組織において力を持つ人をインタビューして、授業で習ったことが実際に使われているのかをグループワークで検証したりした。
試験・課題など	質問に答える形式の長文クイズが2つ。 そして最後はグループワークの内容をプレゼンテーション、レポートとして提出。
感想を自由記入	セッションDは中国人留学生が90%を超えるのではないかと授業がたくさんある中で、この授業は半分がスウェーデン人、3分の1がドイツ人、その他という国際的な生徒30名ほどで構成されており、レベルも高かった。 グループワークで対象にすべき人を探すのがとても大変だったが、友達の力を借りて無事見つけることができた。その方とインタビューを重ね、それをまとめ上げていく作業がとても大変でした。 授業の内容を理解するのが、他と比べて少し難しかったです。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	Great クラスに入る。
8月～9月	TOEIC 勉強 KIPという団体にアジア研修(シンガポール、香港)参加
10月～12月	TOEIC 受験
2018年 1月～3月	KIPという学生団体にアメリカ研修(ハワイ、カリフォルニア、ニュージャージー)参加
4月～7月	
8月～9月	TOEIC再度受験
10月～12月	JACACへの申し込み
2019年 1月～3月	JACAC日加学生フォーラムに参加
4月～7月	留学準備・出発
8月～9月	留学・帰国
10月～12月	就職活動

留学体験記

留学しようと思った理由	勉強が大変と言われているアメリカの大学ではどういった授業が行われているのか、国際的に学生はどのようなモチベーションで勉強しているのか体感し、自分を試したかったからです。またそれを通して自分を鼓舞し、学問に向き合って真剣に勉強したかったからです。また、バークレーという名高い学校での授業は興味がありました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	
この留学先を選んだ理由	バークレーという世界大学ランキングで上位にくるような大学で上記にあげたようなことを成し遂げたかったためです。また学生もレベルの高い学生が集まってくると考えました。実際に賢い人がたくさんいました。
大学・学生の雰囲気	自然が多く、キャンパスを歩くだけでもリラックスできるような素敵な環境。何より気候が最高にいいので、外で勉強やリーディングの課題をやったこともありました。夏の期間はやはり、バークレー生にはあまり出会えませんでした。しかし、バークレーで勉強しに来る留学生のレベルは高かったように思います。みんな知的で、映画、音楽、小説の教養がたくさんあり、話についていくのが時々大変だったこともあります。
寮の雰囲気	International House は歴史ある寮で、世界中からの人が集まっており、日々寝食共に過ごしていた友達はほとんどのInternational House で出会うことができました。結果的に世界中の友達を作ることができました。(インド、ドイツ、スペイン、オランダ、ポルトガル、アメリカ、ブラジル、チリ、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、カナダ、) 施設内も清潔で建築がとても綺麗です。ここの食堂はかなり充実しており、他の寮の人からも羨ましがられたこともあります。ピュッフェ形式のため食べすぎないよう、自己管理が欠かせません。また International House 主催のイベントは通常の値段より割引かれた値段で Six Flags や Alcatraz 島(ガイド付き)、Hamilton ミュージカルなどの観光地に行くことができました。
交友関係	同上 付け加えると、クラスでも友達を作ることができます。 次の課題の確認をするというきっかけが一番自然な交友関係の一步ではないかと思えます。
困ったこと、大変だったこと	READING の量が多く、眠くなるまで目を擦りながら読み、朝は早く起きて読む日々が直面した困難です。Reading が遅い自分に苛立ちながらも、そんな自分を受け入れて、ノートにポイントをまとめながらこなしていきました。Reading を丁寧にやり、ノートに完璧にまとめた予習ができた日の授業の理解度は明らかに良かったです。この理想の状態を続けられるよう、努力し続けました。終わらなくてもギリギリまで読むことを心がけ、諦めない姿勢を大事にしました。
学習内容・勉強について	上と内容がかぶりますが、読まなくても授業では特に困らないものでも、読むという作業をするだけで、授業の理解度吸収度が変わっていったので、それは最初から続けるべきだと思いました。
課題・試験について	覚える内容が多く、また英語なので、少し大変でしたが、選択問題を出してくる授業が多いので、救われました。 レポートも直前ではなく、前もってやり、見直しをする時間を設けるべきだと思いました。
大学外の活動について	友達とサンフランシスコ観光、アウトレットショッピング、サイクリング、ハイキング、湖でスイミング、外食などをして楽しんでいました。 平日はフリータイムはジムで汗を流す子が多く、私も感化され、週2、3の頻度で行ってしました。 ダンスサークルにも一度入りましたが、すぐに辞めてしまいました。 オレンジセオリーという日本でバイトしているフィットネスが近くにあったため、週一の頻度でワークアウトしに訪問しました。

留学を志す人へ

留学で成し遂げたいことを明確にし、自分らしい留学を過ごしてください。
留学先で出会う素晴らしい人々と素晴らしい環境で沢山貴重な体験ができることを願っています。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	授業	授業	授業	自習	自由	グループワーク	自由
午後	自習	自習	自習	自習	自由	グループワーク	自由
	ジム	授業	ジム	授業	課題	自由	グループワーク
夕刻	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	夜ごはん	自由	グループワーク
夜	自習	自習	課題	自由	自由	自由	自習

